THE ROTARY CLUB OF NAGNAO EAST
長野東ロータリークラブ
例会　毎週水曜日 12:30～13:30　ホテル国際21

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

2023年８月23日　第2,614回　No.2,318号

会長：奥山　哲　・　幹事：神津　富治男　・　会員サービス委員長：仁科　圭右
E-mail：neast-rc@dia.janis.or.jp

《点　　鐘》

《ロータリーソング》
○　奉仕の理想

《ゲ ス ト 紹 介》
○　医療法人啓成会　岡田内科
　院長　大林　英子様
○　文化学園長野中学・高等学校
　インターアクトクラブ顧問
　長田　里恵様
○　交換留学生
　小林　徳亮様
○　米山記念奨学生
　ン　イウヨン　マックス様

《会　長　報　告》
○　皆さま、こんにちは。お盆休み明けになりますが、皆さまそれぞれのお盆、夏季休暇を迎えられたことと思います。長野県のお盆の習慣として、迎え盆と送り盆で樺を焚く、そして天ぷらを食べるがあるかと思います。実は、東京ではというよりも私の実家がそうであったと思われますが、主にご先祖様へのお墓参りは、春と秋のお彼岸だけで、もちろん樺は焚かずです。そして、特に決まった食事も摂っていませんでした。長野に住んで最初の年に初めて樺を焚きてんぷらを食べて、ご先祖様と故人を偲び供養したことが新鮮だったことを覚えています。全国的にも、お彼岸とお盆でのお墓参りが一般的な様です。いずれにせよ、ご先祖様を想う気持ちを、今後とも世代は問わず、大切にして継承していかなければならない風習の一つではないかとあらためて思います。本日は、ゲストに文化学園の小林君、長田先生、米山記念奨学生のマックス君、そして岡田内科の大林院長様にお越し頂いています。お忙しい中、お越し頂きありがとうございます、この後のスウェーデンでの留学のご報告、ゲスト卓話を楽しみにしております。ゲストのかたもいらっしゃるのでちょっと前置きになりますが、今年度の会長報告は、現在ながの情報NEXTと名前を少し変えていますが、自社媒体のタウン情報誌として発刊しているながの情報をご紹介しながら、長野市の歩みを振り返っています。本日は昭和48年１月29日に発刊された創刊号のご紹介になります。先ずは表紙です、先日ご紹介しました試験号と同じデザインです。中央の円形画像は長野スケートセンターを魚眼レンズで撮影したものになります。また創刊号の配本場所に関しては、八十二銀行様の各支店、市内の書店を主体に、市内33か所に置かれていました。定価は50円での販売だったようです。

　この表紙のデザインに関しても、試験号での読者の皆さんからの反応や評価を基に、創刊号は試験号と同じデザインにしたそうです。ここで、試験号のテスト発刊から、あらためて創刊にいたった際の発刊者でもある先代の清水栄一の想いが本紙の編集後記に記載がありましたのでご紹介をさ

せて頂きます。俗っぽいタウン誌の氾濫する中で、全く独創的な形態のものを世に出すのは、なかなかえらい事でした。昨年11月試験号を出したところ、中央新聞紙上で紹介されたり、市民の皆さんから礼賛の声や、沢山の熱心なご意見、はげましなどを頂いて、大いに意を強くした次第です。こうして創刊号を作りあげてみると、全く意にみたないことだらけですが、皆さんのご協力により、より良いものを作りお役に立地帯と思いますので、どんなご意見でもどしどしお寄せくださいとあります。生まれたてのながの情報は、今後読者である市民の皆さまの声に敏感に反応しながら、市民の皆さまが求める情報を皆様に伝える情報誌としての役割を果たしていく。これは今も変わらないポリシーでもあります。表紙の次のページいわゆる表２のページは、創刊号が発刊された1973年が善光寺御開帳開催の年度でもあり、その御開帳奉賛としての催しとして開催された、長野博覧会の広告です。実は、この博覧会の開催内容の一つにある西ドイツハーゲンベック動物ショーは、世界的にも有名なサーカス団であり、猛獣を扱う動物ショーは特に見物だったようです。1907年に動物商人だったカール・ハーゲンベック氏が動物園を設立したところからスタートしたようで、現在もハンブルグに動物園は現存している様です。主催された水澤君の信越放送さまは、流石だと思います。続いて、時代背景を象徴するものの一つとして、当時上映されていた映画作品も挙げられるかと思います。昭和48年１月のお正月ロードショーの上映スケジュールになります。また、当時の娯楽の主力だったのが映画鑑賞かと思われます。

誰もが知っているあの名作､フランシス･フォード・コッポラ監督のゴッドファーザーがオンタイムで上映されています。キャストは、マーロン・ブランド、アル・パチーノ他です。因みにですが、上映された1972年のアカデミー賞に９部門ノミネートされ、作品賞、主演男優賞、脚本賞を受賞しています。本当にプチ情報になりますが、弊社会長の清水光郎が好きな映画の一つみたいです。メンバーの中でも目撃された方もいらっしゃるかと思われますが、今もシルクハットを愛用しています。恐らくこのゴッドファーザーの影響ではないかと思われます。時代を反映するもう一つの代表的なアイテムですが、続いてレコードの紹介ページになります。私の世代も、物心がついて洋楽に興味を持ったころは、音楽を聴くコンテンツはレコードが主流の時代でした。当時は、レンタルレコードが盛んな時で、借りてはカセットに録音をして自分だけのマイテープを作っていました。そして、友達同士で貸し借りをしていたことを記憶しています。ここにいらっしゃる多くの方にとっても、懐かしい思い出ではないでしょうか。ながの情報のレコード紹介ページでは､クラシックを紹介しています。掲載当時のクラシックレコードは、一般的な視聴層が30代から40代と年齢が高い事情もあって、2,000円～3,000円の相場だったようです。しかしながら、視聴層が15～17歳代に変わったらしく、その年代の財布事情に応じて、1,000円盤が販売されるようになった様です。今や音楽はネットからダウンロード、更には定額料金で聴き放題のサブスクリプションの時代になっています。所感になりますが、便利になって良いのやら、何か寂しいのやら、複雑な心境です。それでは、本日はこの後、小林君の留学報告、そして岡田内科大林先生のゲスト卓話が控えておりますので、会長報告はここまでにしたいと思います。ありがとうございました。

Rotary

ながの情報

１９７３年　昭和４８年発刊　創刊号

Tool & Travel カシヨ株式会社

ながの情報、0号の反響を受け月刊タウン誌として創刊！

Rotary

表紙は、長野スケートセンター！
八十二銀行さま、市内書店、
他を含め33か所で配本。

創刊号の編集後記より

Rotary

昨年11月試験号を出したところ、
中央新聞紙上で紹介されたり、
市民のみなさんから礼賛の声や、沢山の熱心な
ご意見、はげましなどを戴いて、大いに意を強
くした次第です！
市民の皆さまの声があって出来た継続発刊！

編集
後記

俗っぽいタウン誌の氾濫するなかで、全く独創的な形態のものを世に出すのは、なかなかえらいことでした。昨年11月試験号を出したところ、中央新聞紙上で紹介されたり、市民のみなさんから礼賛の声や、沢山の熱心なご意見、はげましなどを頂いて、大いに意を強くした次第です。こうして創刊号を作りあげてみると、全く意にみたないことだらけですが、みなさんのご協力により、よりよいものを作りお役に立ちたいと思いますので、どんなご意見でもどしどしお寄せ下さい。

創刊号の表２は、信越放送さま！

Rotary

善光寺御開帳奉賛として、
開催された長野博覧会！
目玉は、西ドイツハーゲン
ベック動物ショー。

昭和４８年１月の上映情報！

Rotary

長野グランド劇場、パレス映画劇場、そして現存の千石劇場。
他にも８箇所の劇場が市内にあり、娯楽の王道が映画鑑賞の時代。
マーロン・ブランド主演のゴッドファーザー、
アラン・ドロンとカトリーヌ・ドネーブのリスボン特急がロードショー！

もう一つの娯楽、レコード！

Rotary

1972年当時、
クラシックのレコードは、
1枚2,000円程度だったのが、
1枚1,000円へ！

《幹　事　報　告》

◯　地区事務所よりガバナーノミニー決定宣言が届いております。

　2025-2026年度ガバナーに松本南ロータリークラブの小林　磨史（こばやし　まふみ）君が決定いたしました。

氏　　名	小林　磨史 （こばやし　まふみ）
所属クラブ	松本南ロータリークラブ
勤務先・役職	有限会社ホテルニュースステーション　代表取締役
職業分類	ホテル
生年月日	1954年（昭和29年） ９月15日　　現在68歳

◯　地区事務所より秋田豪雨災害に対する支援金として災害義捐金口座より20万円をお送りしたとのご報告がございました。詳細につきましては掲示板をご覧ください。

◯　次週はガバナー補佐事前訪問です。大勢の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

◯　古着でワクチンの見本が届きましたのでご覧ください。

　結構大きな袋となります。まだ古着を捨てないでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

《出　席　報　告》

本　日	出　席	欠　席	出席率
会員数57名	32名	25名	56.14％
前々回　７月26日	訂正出席率　62.26％		

《ニコニコボックス》

夫人誕生祝い：袖山　榮輝君
早　　退：水澤　文一君

◯　皆さん！もう暑い！熱い、と言うのは止めましょう！何回言っても何も変わりません、トホホ　　横田　一尊君

◯　長野パルセイロレディースの健闘を祈って。　　中山　　潔君

《帰　国　報　告》

○　交換留学生　小林　徳亮様

帰国報告をさせていただきます。６月28日にスウェーデンから帰国しました。

結論から言いますと自分の交換留学は『冒険』でした。すべてのもの（環境・人・土地）が新しくその中で生活してきました。スウェーデンといいますと皆さんは何を思い浮かべますか？やはりボルボ・IKEAとかでしょうか。あとは税金が高い、などでしょうか。僕もそのようなイメージしかなく、第一志望でもなかったので、漠然としたイメージのまま出発しました。僕がステイしていたのはスウェーデンでも南の方だったのであまり雪も降らず過ごしやすいところでした。港町で漁業が盛んな小さな町でした。

自分はホームシックにはならないという謎の自信があったのですが、最初はやはりホームシックになってしましました。７～９月は自分の人生の中でもとてもつらい時期でした。その後スウェーデン語が段々聞き取れ話せるようになり、楽しくなってきたのは12月頃でした。スウェーデンの高校は日本の大学のような雰囲気で勉強したいことをするという形で人によって時間割が違います。終了時間が早いのが良かったです。また、５月には交換留学生のみんなとヨーロッパツアーに連れて行ってもらいとても楽しかったです。

昨年長野東ロータリークラブ様から推薦していただき本当にありがとうございました。皆様のおかげでスウェーデンに一年間留学することができました。学校の長田先生や校長先生はじめ両親の理解や、何よりロータリアンの皆様の支援のおかげだと思っています。交換留学で得た経験を人生の糧にしてよりよいものとしていきたいと思います。ありがとうございました。

《本日のプログラム》

○　ゲスト卓話
医療法人啓成会　岡田内科
院長　大林　英子様
「糖尿病について」

《８月30日のプログラム》

○　ガバナー補佐事前訪問
北信第二グループ
ガバナー補佐　池田　　茂様

《８月30日のメニュー》

○　６枠弁当スタイル
・太刀魚と茄子田楽
・煮物（里芋、インゲン、烏賊煮物）
・鱚変わり上げ　甘長唐辛子　天汁
・豚しゃぶサラダ
・オクラ和え物
・御飯　味噌汁　漬物
・季節のフルーツ
（スイカ・オレンジ・パイン）

＝次週例会予告＝

《９月６日のプログラム》

○　第３回クラブ年次総会